

生産・出荷指数 とともに上昇

1 概要

平成12年4～6月期の埼玉県鉱工業指数（X-11 デフォルトによる季節調整済、平成7年平均＝100）は、前期と比べ、生産・出荷が上昇し、在庫・在庫率が低下した。生産は2期ぶり、出荷は3期ぶりの上昇となった。

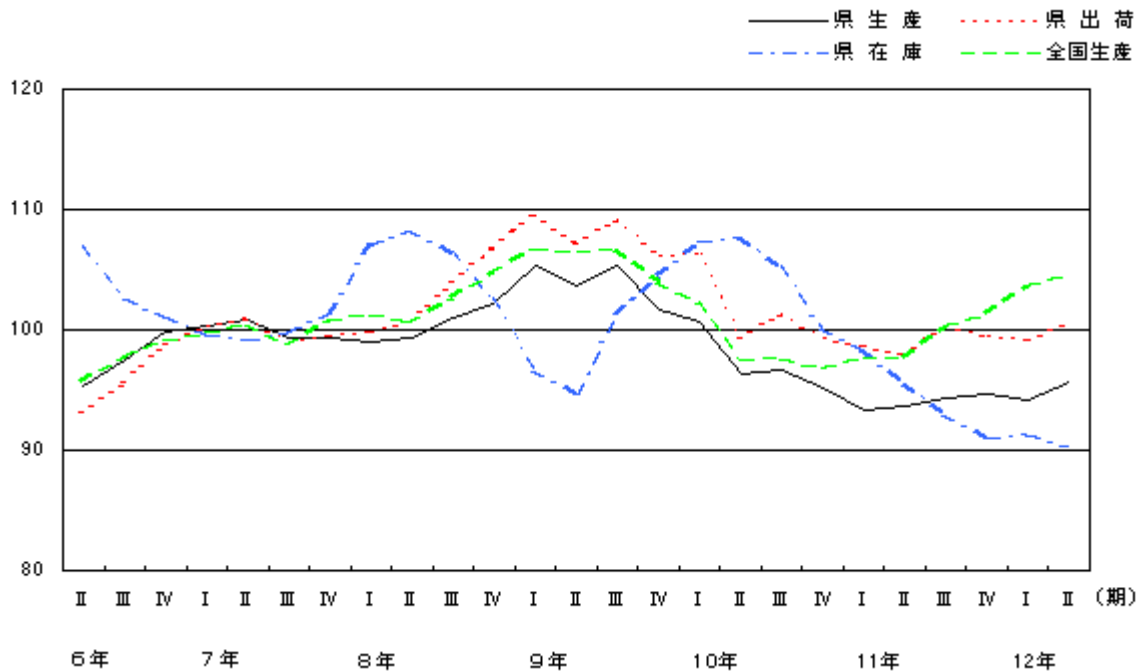
前年同期比では、生産は2期連続、出荷は3期連続で上昇した。

	埼玉県			全国		
	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生産	95.6	1.6	2.0	104.6	0.9	7.0
出荷	100.7	1.5	2.7	106.8	1.0	7.9
在庫	90.4	△1.0	△5.4	95.5	△0.1	△0.7
在庫率	98.3	△0.1	△8.6	100.2	0.9	△4.8

前年同期比は原指数による

－埼玉県鉱工業総合指数の推移－

（平成7年平均＝100 季調済）



2 業種別動向

(1) 生産

19業種中8業種が上昇し、11業種が低下した。上昇には一般機械工業、食品工業などが寄与し、低下には化学工業、精密機械工業などが寄与した。

(2) 出荷

19業種中8業種が上昇し、11業種が低下した。上昇には一般機械工業、輸送機械工業などが寄与し、低下には化学工業、プラスチック製品工業などが寄与した。

(3) 在庫

19業種中7業種が上昇し、12業種が低下した。上昇には電気機械工業、非鉄金属工業、金属製品工業などが寄与し、低下にはパルプ・紙・紙加工品工業、一般機械工業などが寄与した。

